

第 10 期 pES club step4 大会薬学生シナリオ

平成 23 年 6 月 19 日

横浜市立市民病院 薬剤部

五十嵐 俊

東京北社会保険病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたは名羅手部総合病院に勤務する 2 年目の薬剤師です。今日は今月 2 回目の当直勤務ですが、久しぶりに外来も入院も落ち着いており、いつもこうだと良いのにと感じていました。

ところが深夜 3 時 30 分頃、静寂を破るかのように、電話の着信音が響きました。

あなた「お待たせしました。薬剤部〇〇（あなたの名前）です」
交換台「外線電話が入っています。薬についての問い合わせですが、取り次いでよろしいですか」

あなたは眠い眼をこすりながら、外線電話の対応をすることにしました。

あなた「お待たせしました。名羅手部……」
電話 「妹が、妹が大変なんです！&%\$#&+@¥……」

あなたが名乗り終わるより早く、電話口の女性はまくしたてるように話し始めました。彼女の話を整理すると、

- ・ 先ほど帰宅したら、居間の床で 2 人暮らしをしている 4 歳下で 23 歳の妹がぐったりしていた。
- ・ ゆすっても叩いても、妹はまったく目を覚まさない。
- ・ 居間のテーブルの上に薬の殻（包装容器）が転がっていた。
- ・ 転がっている薬の殻は
ハルシオン® 14 錠分、デパス® 14 錠分 だった。

どうやら過量服薬をしたらしいことが分かったあなたは、電話口の姉に、現在の状況、今後の見通し、実施するべき対応などを説明することにしました。家族が適切な行動がとれるように、アドバイスをしてください(10 分間)。